

主題	残業なしでできた！全職員参加型 介護技術研修		
副題	～個々に合わせた研修で能力向上・やる気向上～		
能力別ユニット研修		業務時間内研修	
研究期間	12ヶ月	事業所	東京都板橋区立特別養護老人ホームみどりの苑 通所介護
発表者：坂本 教子・宮本 綾		アドバイザー：	
共同研究者：武田 大輔			
電話	03-5994-5926	メール	katura-n@midorinosono.net
FAX	03-5994-5929	URL	http://www.midorinosono.net

今回発表の事業所やサービスの紹介	平成2年開設、公設民営にて開設当初より社会福祉法人至誠学舎東京が運営し、平成18年からは、指定管理者として引き続き当法人が運営をしている。（現在、一般通所定員35名 認知症対応型通所介護12名×2ユニット 計59名定員）利用者本位の介護を行うために施設全体で職員の育成にも力を入れている。また、介護技術研修・感染症対策など様々な研修も積極的に取り入れている。
------------------	---

《1. 研究前の状況と課題》

様々な育成研修を行ってきたが、そのほとんどが業務時間外の画一的なものであり受講者が受身になりやすく、消極的な研修になっていた。また、職員一人ひとりによって知識や経験も異なる現状であり、受講した研修をきちんと理解できているのか、理解度にも開きが生じているのではないかと育成者側が感じていた。しかし、日々の業務の中で、慢性的に残業が多くなってしまい、スキルアップをしたいと思っても、全体で行うには時間がない状況であった。そこで、業務時間内に個別性のある育成を行うことで、より参加しやすく、理解を深めてもらうためには、どうしたらよいか考えた。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

受講者と講師側が共に成長することを求め、少人数制で複数の職員が講師役を務めることで、業務内の時間を効率的に使用し、就業時間内に研修を行うことを目標とした。また、人体機能のメカニズムから伝えることで、介護技術の基本的理解と理論に基づいた介護を実践できるようになることを目的とした。

《3. 具体的な取り組みの内容》

- ① デイサービスの全職員を対象とした。
- ② 職員一人ひとりの知識や経験を加味した上で、個々のレベルに合わせた少人数のチーム分けをした。
- ③ 研修は、すべて業務時間内で行った。
- ④ 誰が受講しても同じ内容が講習できるよう、話し合いを重ね、講師側のマニュアルを作成した。その上で、講師役が人体機能のメカニズムを基礎から伝え、車椅子・排泄・食事・移乗等の介助方法や感染症対策を講義した。
- ⑤ 講師は、経験が豊富な介護職員・機能訓練指導員・看護師などで、構成した。
- ⑥ 機能訓練指導員や、看護師が中心となり、移乗、車椅子介助・感染症対策の資料作成を行った。また、業務時間内に研修を終えることができるよう、各ユニットの相談員・介護職員が協力し、常にヘルプに行ける体制を整えた。
- ⑦ 業務時間内研修の為、特別な費用はかかっていない。(教材や、マニュアル作成の費用等)
- ⑧ 講師役が研修日誌をつけた。日誌の内容を参考に、その後の研修内容やチーム分けの変更を行った。

《4. 取り組みの結果と考察》

受講者全員に報告書やアンケートを記入してもらった。そして、それをまとめたり、講師役が日誌をつけたことで、受講者の反応・思い・考えを細かく知ることができたが、講師側の負担が大きくなった。

しかし、講師役になることで介護に関しての幅広い知識や技術をきちんと理解しなくてはならない為、講師役の介護技術や能力向上につながった。また、講師とコミュニケーションを密にとることのできる積極的な研修となったことで、受講者全体の能力向上・スキルアップにもつながった。

《5. まとめ、結論》

介護技術研修を少人数制かつ業務時間内に個々に合わせた形で行い、基礎から伝えることで、受講者一人一人の質問や疑問にもきちんと答えることができ、受講者が積極的に参加できた研修となった。また、受講後、研修内容を実践し、疑問が生じると、講師役の職員に意欲的に質問する場面も多く見られた。今後も職員からの要望が多い研修を行うことで、より職員のやる気向上につなげていきたい。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究発表を行うにあたり、全職員に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《8. 提案と発信》

介護職は離職率が高い仕事のひとつといわれています。その為にも、職場で職員一人一人に適した研修を行ない、疑問を解消し、介護に対してのやりがいを見出すことで、未来の介護を担う人材を、介護業界全体で育てていく必要があるのではないのでしょうか。

【メモ欄】